

陸上自衛隊高等工科学校生徒採用試験を実施

山梨地本は、今年最初となる高等工科学校生徒採用試験を実施しました。試験の際には、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意して試験を実施しました。

高等工科学校は、将来陸上自衛隊において、高機能化・システム化された装備品を駆使・運用するとともに、国際社会においても自信を持って対応できる自衛官となる者を養成し教育する陸上自衛隊の学校で3学年終了時高等学校の卒業資格を取得することもできます。

1 高等工科学校生徒1次試験

1月23日(日)、甲府市の甲府合同庁舎において、第1次試験を実施しました。受験生達は真剣な表情で5科目の筆記試験及び作文試験に臨んでいました。試験開始前や休憩時間を利用して、受験生は試験の直前まで参考書の確認に努めるなど試験に対する意気込みが感じられました。

2 高等工科学校生徒2次試験

2月8日(土)には北富士駐屯地において、第2次試験を実施しました。口述試験(個別面接)及び身体検査が実施され、口述試験では受験生たちは寒さを吹き飛ばすような元気な声で、「災害派遣の際にはみんなを助けたい」「高等工科学校で学んで、防衛大学校に進学し幹部自衛官になりたい」など、それぞれ高等工科学校に対する思いをアピールしていました。

現在、自衛官等の採用試験は、予備自衛官補、医科・歯科幹部、一般幹部候補生及び一般曹候補生が受付中です。自衛官採用等に関する質問等がありましたら、山梨地本にご連絡ください。



エアクッション艇見学

2月14日(日)山梨地本は静岡地本と合同で、沼津海浜訓練場(静岡県沼津市)において海上自衛隊エアクッション艇(通称LCAAC(エルキャック))の見学を実施しました。山梨からは募集対象者をはじめとする9名の方が参加しました。

LCAACは海上自衛隊でも6隻しかない珍しい艦艇で、海面に空気を吹き付けて浮上し、船尾にある大型の扇風機のようなプロペラを回して前後に進みます。また、90式戦車なら1両、人員であれば約30名を積載することができ、参加者は訓練場に到着後、砂浜で待機しているLCAACに乗り込み艇内を見学し、引き続き砂浜に乗り上げるビーチングの訓練を見学しました。ビーチングの様子はめったに見られないこともあり、参加者は皆、迫力ある姿に目を見張るとともに「入隊後はLCAACで勤務してみたい」という声がかれました。

今回の見学を通じて、参加された皆様に、海上自衛隊には多様な艦艇があり、活躍の場も幅広いことをご理解いただけたと思います。



艇内での説明



ビーチング訓練